令和４年度
進路だより
秋田県立秋田きらり支援学校
第６号
令和５年３月１０日発行

今年度の本校の進路指導

校長　千　葉　雅　樹

令和４年度も残り１ヶ月となり、いよいよ「進路」本番の時期がやって来ました。

本校小学部６年生と中学部３年生の中には、本校中学部・高等部への進学だけではなく、通常の中学校、高校に進学希望している、または既に進学が決定した児童・生徒もいます。高等部３年生は、現時点で継続支援Ｂ型事業所内諾１名、生活介護内諾４名、施設入所未定１名、療養介護内諾３名となっています。学級担任や進路指導部教員がそれぞれの希望進路実現のために尽力している最中です。

今年度は、感染症対策を徹底した上で、ほぼ計画どおりに進路関係の活動を実施することができました。高１は事業所見学９カ所（５人)、高２は事業所見学８カ所（４人)、現場実習６カ所（４人)、高３は事業所見学７カ所（６人)、現場実習が８カ所（５人)、順調に実施することができました。見学先、実習先の皆様には、感謝申し上げます。

また、同窓会活動として、今年度から「青年学級」を実施しています。参集とオンライン参加の併用で５回開催しました。同窓生や元担任の先生と近況報告、音楽レクリエーション、きらり祭のパブリックビューイングなどを行い、参加者には大変好評でした。オンラインを併用したことで、訪問学級の同窓生の参加も実現できました。

「進路学習」としては、各学部での年間指導計画に沿った進路学習のほか、卒業生を講師とした高等部の「卒業生講話」、中学部の「職業学習週間」、高等部の「校内実習」などを行いました。「進路研修」としては、進路指導部教員が講師となり、各学部で教員の進路研修会などを実施しました。進路指導・キャリア教育については、高等部のみで行うものではなく、小学部から高等部まで一貫した、年齢段階・生活経験等に応じた継続的・計画的な指導が重要です。

特に、本校では、今年度から、「生涯学習」の視点を重視しています。様々な教育活動は、学校だけで完結するものではありません。むしろ、卒業後の人生の方がずっと長い。卒業後の日々の生活の充実、生活の質の向上、生きがいがとても重要です。そのための資質・能力の育成が、現在学校教育に求められています。今後もご家庭や関係機関と連携しながら、よりよい進路指導を進めて参ります。

秋田きらり支援学校同窓会

青年学級 ～学校卒業後の「学びの場」～

今年度から新たに実施された「青年学級」の後期の取組について改めて紹介いたします。

第4回青年学級<10月29日（土）実施>

パブリックビューイング「きらり祭」

会場：地域支援室

2年ぶりに卒業生も来校することができた「きらり祭」。パブリックビューイングでの参加となりましたが、卒業生も「きらり祭」の雰囲気を味わいました。

第5回青年学級<11月26日（土）実施>

サイコロトーク～何がでるかな？～

会場：会議室、オンライン

悩んでいることも含めて、自分の「今」を伝えられる機会になりました。気持ちもリフレッシュできたそうです。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、同窓会役員の先輩方が中心となって、取り組んできた青年学級。今年度は合計５回実施しました。参加した卒業生や同窓会役員の方々からも「楽しかった」「○○もやってみたい」と前向きな意見をたくさんいただきました。次年度には、また新しい取組も計画していきたいと考えています。次年度の活動もご期待ください。

同窓会入会式

９名の新入会員が先輩たちの仲間入り

同窓会入会式が２月２７日(月)に行われました。第１３期卒業生の９名が新たに同窓会に加わりました。同窓会役員を務める先輩方からは、「困ったことがあれば遠慮なく言ってほしい」「一緒に同窓会活動を盛り上げていきましょう」と、温かいお祝いメッセージがたくさん届けられました。

卒業生の皆さん、今後は先輩方と一緒に秋田きらり支援学校を見守ってください。よろしくお願いします。

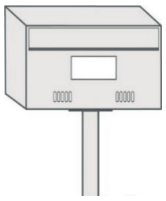
新入会員のみなさん、同窓会への加入ありがとうございます。同窓会はみんなで作っていくものだと思いますので、意見や困ったことがあれば、遠慮なく言ってくださいね。　　平成22年度卒　Ｋさん

先輩方からお祝いのメッセージ

ようこそ　同窓会へ。
卒業すると、なかなか先輩や同級生に会う機会が少なくなります。同窓会活動に参加してどんどん盛り上げていきましょう。これからよろしくお願いします。　　平成29年度卒　Ｉさん

ご入会おめでとうございます。
最初は、戸惑うこともあるかもしれませんが、分からないことは、僕や先生方に聞いてください。何でも答えます。安心してください。
平成29年度卒　Ｓさん

卒業生のみなさん、ご入会おめでとうございます。不安もあるかと思いますが、一緒に盛り上げていきたいと考えていますのでがんばりましょう。
平成25年度卒　Ｙさん



【　～みんなの質問箱より～　】

Ｑ１）２組の先輩たちのことを教えてください。（小保護者より）

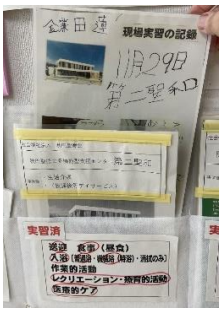
①　進路先を決めるまではどのような流れ？

②　進路の希望・選択先や、利用を希望したサービスは？

Ａ①）２組の先輩（医療的ケア生も含む）たちも、高等部時代、３年掛けて、気になる事業所で見学や実習をし、その中で自分に合った事業所を見付けて卒業後の利用に繋げました。その実習の様子は、令和３年度から現在の２～３年生の先輩まで、現場実習報告として写真入りで情報がありますので、ご覧ください。

高等部棟の掛示板に掲載されています。

（Ａ棟：高等部棟北側掲示板の進路コーナーに掲示しているほか、事業所パンフレットのポケットに実習済と赤字で書かれた場所に入っています。）



なお、実習期間は生徒の体調等も考慮した上で、保護者や担任と検討して決定します。実習では、各事業所での活動を体験するほか、入浴や昼食、送迎の体験もできます。（＊各事業所で、可・不可の対応が違いますので、確認が必要です。）

Ａ②）２組の先輩たち（医療的ケアの先輩も含む）は、作業的な活動よりもレクリエーション的活動を希望する方、また、**入浴**、**昼食**、**送迎**を希望する方が多いです。

各事業所パンフレットがあります。

そのため、主に聖和、第二聖和、にのに、よつ葉、ひだまり、ほくと、を希望される方が多いです。（ただし、各事業所によりサービス内容は異なりますので、進路コーナーのパンフレットやサービス内容でご確認ください。）

ちなみに、２組に限らず、入浴ニーズは１組でも同様に高くなります。

Ｑ２）今利用している事業所は卒業後もそのまま利用できるの？、改めてまた手続きが必要なのですか？（小保護者より）

Ａ）在学中に利用しているサービスは「障害児通所支援の放課後等デイサービス」、卒業後に利用するサービスは「障害福祉サービスの一つ、生活介護」であり、法律上もサービス上も違うものとなるため、改めて高等部３年生（10 月頃）で手続きが必要となります。現在利用されている事業所さんは「多機能型～」であるため、両方のサービスができるのです。

さて、今利用されている放課後等デイサービスを卒業後もそのまま生活介護にサービス移行できるといいのですが、継続利用の可能性はあるものの、お約束できないというのが実情です。卒業時の利用は、他の事業所の利用と同様、利用相談時の事業所定員、他校等も含めた利用希望者、サービスの希望内容（入浴や送迎等含む）等により、利用できる回数や可否が決まってきます。

「多機能型～」であってもそうでなくても、在学中から様々な事業所を利用し、本人がたくさんの人や環境に慣れる経験、本人のことをたくさんの方に知ってもらう経験は、将来に必ず結びついていくはずです。

詳細を確認されたい方は、ご利用中の多機能型事業所、または将来利用を検討している事業所へ随時お問い合わせください。